

令和 6 年 9 月 9 日

プレス・リリース

令和遣欧使節結団式のご案内

以下にて団長である支倉常長家第 14 代ご当主の支倉正隆氏はじめ、令和遣欧使節団の団員により令和遣欧使節結団式を行いますのでご案内させていただきます。メディア各社様にはご参集の程よろしくお願いいたします。

日時： 9 月 21 日（土）17：30～

場所： みやぎ NPO プラザ 1 階「びすた～り榴ヶ岡」

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡 5 番地

TEL：022-299-2888

～慶長遣欧使節のスペイン到着 410 周年を記念して～

仙台を拠点として国際交流活動を行っているハボン・ハセクラ後援会は、仙台藩主伊達政宗公が 1613 年に派遣した慶長遣欧使節のスペイン到着 410 年（そして使節の先導役であった宣教師ルイス・ソテロが殉死して 400 年）を記念して、公募によるメンバー約 50 人を「令和遣欧使節 2024」として今年 10 月下旬スペインとイタリアに派遣することになりました。また、今回新たに混声合唱団「コロ・はせくら」も組織し、現地の市民合唱団との合同コンサートも開催します。団長は慶長使節の大使、支倉常長公から数えて第 14 代目に当たる支倉正隆氏。共催は音楽を通して国際交流を進めている米国 NPO 風の環コンサート。協力はスペイン・ハボン・ハセクラ協会、コリア・デル・リオ市、チビタベッキア市、日西観光協会、虹のさかなプロダクションなど。また、ニューヨークからも今回の趣旨に賛同する日本人約 15 人が参加する予定です。

今回の令和使節は、慶長使節の足跡を辿りつつ、慶長使節がスペインに上陸したコリア・デル・リオ市のジャパンウィークに参加すると共に、慶長使節の末裔とされるハボンさん達との交流を深めます。さらにイタリアでは石巻市の姉妹都市：チビタベッキア市のジャパンウィークに参加する他、長谷川路可氏のフレスコ壁画（着物姿のマリア像や長崎で処刑された二十六聖人など）で知られる日本聖殉教者教会を訪問、さらにヴァチカンなど常長一行の足跡を辿ります。セリビア市やコリア・デル・リオ市には宮城県や常長公に所縁の深い川崎町からの親書を、チビタベッキア市には姉妹都市である石巻市長からの親書をそれぞれ支倉正隆氏から手渡される予定です。

ハボン・ハセクラ後援会としては、コロナ禍の間一時途絶えていたコリア・デル・リオ市やチビタベッキ市との交流の再開をきっかけに、今後さらにセビリア県全体、そしてアカプルコやキューバのバハマなどを含む支倉使節ゆかりの都市間で、音楽・スポーツ・文学・教育などの文化交流にとどまらず、観光や産業交易など経済的分野でも広く連携を深めていき、政宗公や常長公が410年前に描いた夢を令和の世で実現すべく、そしてそれを歴史的繋がりをベースとした新しい真のグローバル戦略として発展させていくことを目標にしています。

スケジュール：

2024年10月16日出発。9日間。

10/16：羽田出発

10/17：セビリア経由コリア・デル・リオ着。ハボンさんたちと懇親会。

10/18：コリア・デル・リオのJapan Weekに参加。カルロス・デ・メッサ公園。市庁舎。
夜コリア市文化センターにて式典並びにコンサート。

10/19：セビリアに移動。セビリア市庁舎訪問。大聖堂、アルカサル宮殿、インディオス古文書館、ヒラルダの塔などの世界遺産および黄金の塔などを見学。

10/20：マドリッド、ローマ経由チヴィタヴェッキアへ。

10/21：チヴィタヴェッキアのJapan Weekに参加。ミケランジェロ要塞など観光。
夜、日本殉教者協会にて式典、コンサート。

10/22：ローマへ移動。

ヴァチカン博物館。サンピエトロ寺院。シスチーナ礼拝堂など。

10/23：ローマより帰路の途へ。

10/24：羽田着。

本企画の詳細については下記ウェブサイトに掲載の「令和遣欧使節 2024 企画書」を参照ください。

[ハボン・ハセクラ後援会 | 慶長遣欧使節 \(japonhasekura.com\)](http://japonhasekura.com)

[Europe2024 | Circle Wind](#)